

# FMやスマホなど多様な方法による防災情報の伝達（宇和島市）

## 【取組概要】

コミュニティFM放送「FMがいや」やスマートフォンを活用し住民への多様な方法による確実な防災情報等の伝達を行う。また、IPパケット無線機により避難所や消防団との連絡手段を確保することにより情報の伝達と共有・収集を可能とする。

### ・スマートフォンアプリによる情報提供、配信（運用中）

スマートフォンアプリ「伊達なうわじま安心ナビ」のプッシュ配信機能による防災情報の提供を行う。また、ハザードマップや避難所等の情報提供、災害時の通信圏外での避難所までのナビ機能を搭載。

### ・割込音声告知システムによる放送（運用中）

コミュニティFM放送を活用して、本庁、消防本部等から一斉放送を行う。

### ・防災ラジオ（運用中）

全世帯に配布した自動起動の防災ラジオにより放送を行う。

### ・広範囲長距離スピーカーによる放送（運用中）

中心市街地の7箇所（15基）の長距離スピーカーをFM放送連携により一斉放送を行う。

### ・地域の放送施設を活用した屋外放送（運用中）

周辺地域の集会所等に設置済みの地域の屋外放送にFM放送連携設備を追加して一斉放送を行う。

### ・商店街アーケード内への放送（運用中）

延長約700mの商店街「きさいやロード」内の放送施設（3箇所）にFM放送連携設備を追加して一斉放送を行う。

### ・同報系アナログ防災行政無線の利活用（整備予定）

今年度、防災行政無線の屋外拡声子局の更新にFM放送連携設備を設置して一斉放送を行う予定。

### ・IPパケット無線機の配備（整備予定）

避難所、消防団車両、消防団幹部、公用車等にIPパケット無線機を配備して災害対策本部と現場との双方向の情報伝達手段を確保する。

## 【取組みのポイント】

○スマートフォンアプリは、観光案内機能も充実しており、災害時には防災モードに切り替えることにより、土地感のない観光客等の避難案内を可能としている。

○コミュニティFM放送使った防災放送を様々な場所で放送する事により、住民等へのより確実な情報伝達が可能となる。

○IPパケット無線機は、携帯電話のデータ通信回線を使った次世代の無線機で全国の携帯エリアで通話が可能でありながら、基地局等の整備が必要な防災行政無線に比べ大幅に安く導入できる。全国東北の震災でも通信制限（ドコモのみ30%制限）をそれ程受ける事無く利用が出来た実績がある。

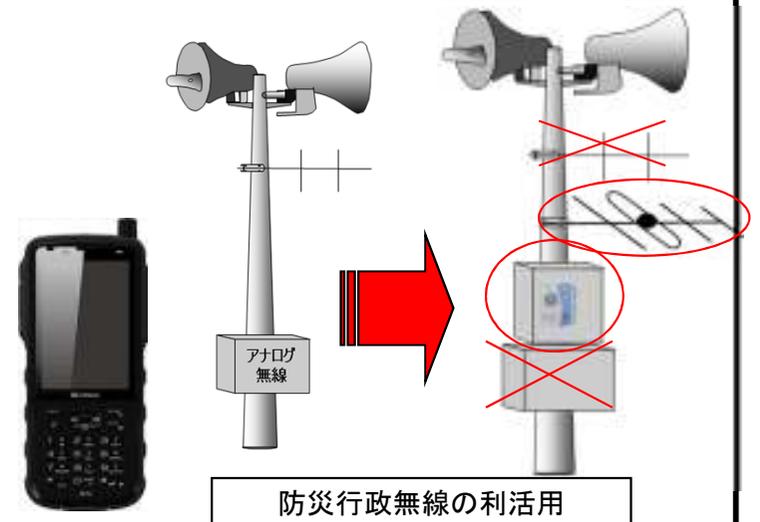
人口80,870人

担当部署 危機管理課

事業実施期間 平成25～27年度



スマートフォンアプリ「伊達なうわじま安心ナビ」



防災行政無線の利活用

IPパケット無線機の配備